

八代市とNTT西日本熊本支店による 「デジタル技術を活用した“スマートシティやつしろ”の推進」に関する 連携協定の締結について

八代市（八代市長：中村 博生）と、西日本電信電話株式会社熊本支店（支店長：朝倉 順治、以下NTT西日本）は、八代市の「デジタル社会の実現に向けた八代市基本方針」に基づき、ICT等のデジタル技術を活用し、地域課題の解決とサービスの効率化・高度化を図り、「安全・安心で持続的に発展するまち“スマートシティやつしろ”」を推進することを目的として、連携協定を締結いたします。

1. 協定締結に至った背景

八代市は、過去の震災や豪雨災害の経験、コロナ感染拡大への対応、昨今の社会全体のDX化の動き等を踏まえ、「デジタル社会の実現に向けた八代市基本方針」に基づき、市民への情報提供の推進や情報通信基盤の整備などによる市民生活の向上、行政サービスの効率化・高度化による市民サービスの充実に取り組んでいます。

NTT西日本は、「ソーシャルICTパイオニア」をめざして、地域社会における様々な課題に対して最適なICTを活用して解決していくことを事業ビジョンに掲げ、これまでに培った知見や最新の技術を活かし、地域社会の活性化、持続的発展を支援しています。

このような背景のもと、デジタル技術を活用した地方創生を推進するために、行政サービスの向上及び地域産業の振興等、地域課題の解決に相互に連携しながら取り組むことについて両者が合意し、今回の連携協定を締結する運びとなりました。

2. 主な連携内容^{※1,2}

「デジタル社会の実現に向けた八代市基本方針」に定める3つの方向性（方向性1：地域課題の解決、方向性2：行政サービスの変革、方向性3：協働と連携によるデジタル社会の実現）に基づき、以下のテーマについて重点的に検討、実施します。また、これらを下支えするために、情報通信基盤の拡充及び情報リテラシーの向上に取り組めます。

- (1) 安全・安心なまちづくり
- (2) 行政サービスの効率化・高度化
- (3) 教育ICTの利活用の推進

※1：連携協定イメージ（別紙1）

※2：重点テーマに関する取組概要（別紙2）

3. 今後の展開

今回の連携協定締結を契機として、NTT西日本がこれまで培ってきた知見や技術力を活かし、ICTを活用した様々な課題解決事例の共有や実証事業の検討・実施を通じて、八代市民のウェルビーイングライフの実現をめざします。

【本件に関する報道機関からのお問合せ先】

八代市 デジタル推進課

TEL：0965-33-4103

NTT西日本熊本支店 事業推進室

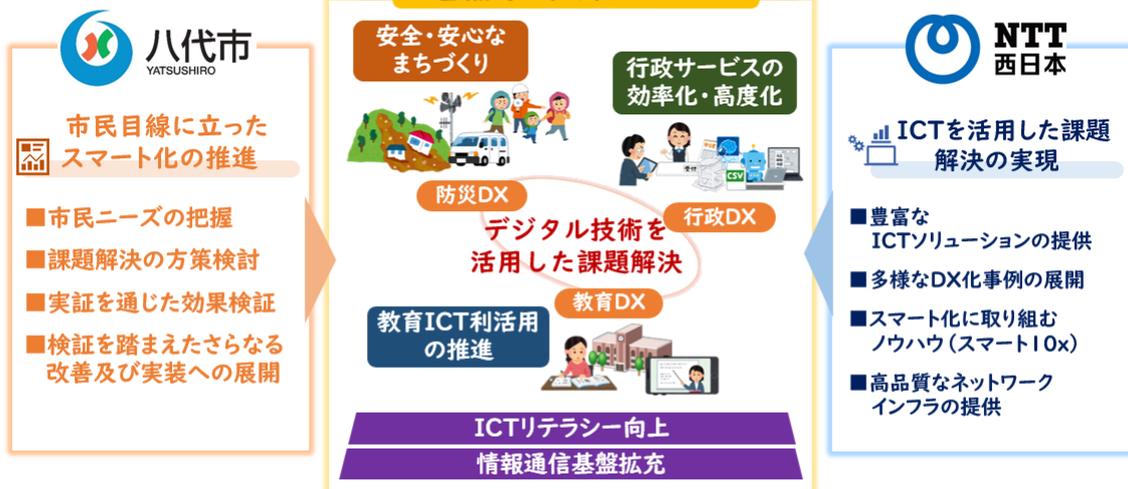
TEL：096-272-9090

未来へつなぐウェルビーイングライフの実現へ

安全・安心で持続的に発展するまちスマートシティやつしろ

自治体や地域のDX化と連携・推進

重点的に取り組むテーマ



市民目線に立った
スマート化の推進

- 市民ニーズの把握
- 課題解決の方策検討
- 実証を通じた効果検証
- 検証を踏まえたさらなる改善及び実装への展開



ICTを活用した課題
解決の実現

- 豊富なICTソリューションの提供
- 多様なDX化事例の展開
- スマート化に取り組むノウハウ(スマートIOx)
- 高品質なネットワークインフラの提供

安全・安心な
まちづくり



防災DX

行政サービスの
効率化・高度化



行政DX

デジタル技術を
活用した課題解決

教育DX

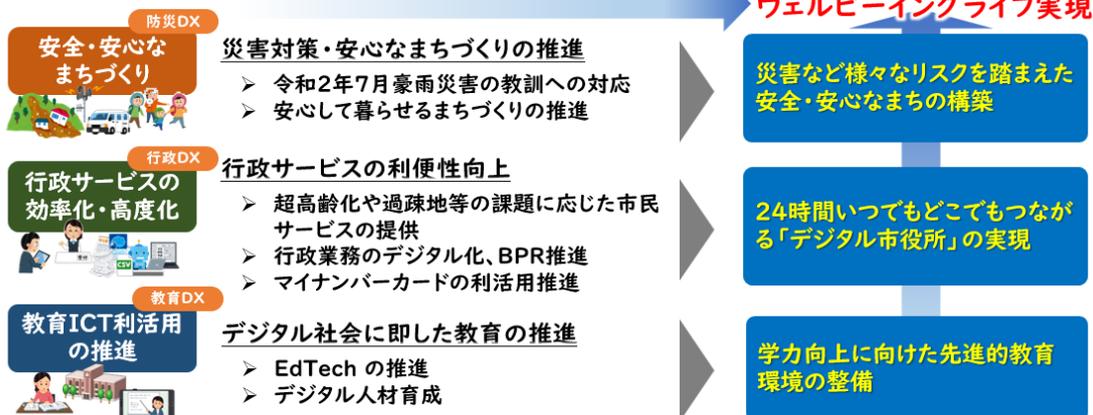
教育ICT利活用
の推進



ICTリテラシー向上

情報通信基盤拡充

■ 取り組みの方向性



■ 協定締結後に着手すること

- 防災DX**

 - ✓ 防災情報など安全・安心関連情報の新たな提供に向けた検討、検証
(今年度導入・運用開始した防災行政情報通信システムおよび災害時支援システムの機能拡張)
 - ✓ 避難所運営のスマート化に向けた検討、検証
- 行政DX**

 - ✓ 市民窓口業務の効率化・高度化に向けたデジタル技術の活用検討、先進事例の情報共有、八代モデルの提案
 - ✓ 中山間地等、遠隔地からの行政相談業務におけるデジタル技術の活用検討
- 教育DX**

 - ✓ 児童・生徒、保護者、教職員向け情報リテラシー研修の実施
 - ✓ ICTを活用した学習環境の整備、教育におけるDX推進に関する情報共有